

社会科学学習で議会を傍聴



真剣な面持ちで議論を見守る江中生

江刈中学校（田鎖敏昭校長）の3学年16人は昨年12月15日、12月定例会の一般質問を傍聴しました。

きっかけは、昨年4月12日から14日まで東京方面へ修学旅行を行なった際に国会議事堂を見学。その後、授業で三権分立や地方自治について学習し、市町村などでも条例や予算などの審議・議決は国と同様のシステムで決まることを知り、町の議会を傍聴することにしました。

テレビで見たTPPについて話し合っていて、参加すると日本の農家はどうなるのか。日本の食料自給率はどう低下するかなど、生活に関わる話が議題になっていて驚いた。「町内の黒毛和牛を飼っている農家が115戸あり、今流行気味のアカバネ病のワクチン接種をすすめていることが分かった」などの感想が寄せられました。

江刈中学校では、来年度以降も授業と併せ、3学年の議会傍聴を計画したいとのこと。

次は予算・決算の審議を

議会を傍聴して

昭和の終わりごろから葛巻町婦人連絡協議会の学習の一環として毎年議会傍聴を行なっていました。その後、役員は引退しましたが、最近でも機会があれば一人でも聞きに来ています。

一般質問を長年見てきましたが、以前に比べ議員や町当局側の発音がはっきりして、聞きやすくなったと感じます。

今度は、ぜひ予算・決算の審議を聞いてみたいと思っています。町や議会の情報などは、印刷物で各家庭に回りますが、「百聞は一見にしかず」といいます。皆さんも傍聴してみてはいかがでしょうか。



遠藤 静枝さん（新町）

情報公開

議長が議会の対外的活動をするための経費が議長交際費です。各団体の総会、式典の会費が主なものです。

- 10月 21,000円（くずまき工房開所式ほか）
- 11月 33,000円（町勢功労者表彰式ほか）
- 12月 29,000円（前里地区集会所完成祝賀会ほか）

編集後記

新年おめでとうございます。昨年は、町村合併55周年の年であり、各分野での記念事業が行なわれ、町内外から多くの参加者が訪れ、活気のある年となりました。今年も昨年以上に活気のある年であるように期待しています。

議会だよりが「町民と議会」を結ぶパイプ役を果たすことができ、親しまれる紙面づくりを心掛けていきたいと思えます。

広報発行常任委員長

小谷地 喜代治